

## 朝倉上地区 元気な地域づくり計画

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業実施期間
愛媛	今治市	朝倉上	H17～H21	H17～H21

(農業地域類型)

(地域指定)

都市的地域	平地農業地域	中間農業地域	山間農業地域
		○	

特定	山村	過疎	半島	離島	沖縄	奄美	小笠原

### 1. 元気な地域づくりのテーマと目標

テーマ	多彩な地域資源による食料の安全・安定供給の体制づくり
<p>目標1：新鮮で安心な食料を安定的かつ持続的に供給するためには、農業生産の基盤となる農地、水利施設等の整備及び健全な保全を図るとともに、農業生産性の向上を促進し、安全で安心な食料を安定的に供給する生産体制をつくる。</p>	

### 2. テーマ及び目標設定の考え方

①地区の概要	<p>本地区は、今治市上朝倉にあり、三方を山に囲まれた沖積平野に耕地が拓けている。今治市と東予市を結ぶ広域農道を經由して、両市に車で約20分と近く、住宅団地が建設されるなど混住化が進展している。</p> <p>当地区の農地は比較的平坦で昭和50年代後半から平成5年度にかけて、県営ほ場整備事業や土地改良総合整備事業によって、区画整理が整備され、基盤整備はほぼ完了している。</p> <p>また、農村の住環境においても、農業集落排水事業によって、生活排水対策に取り組み、ほぼ全域で下水道が普及しつつある。</p> <p>農業は、兼業農家を中心に、整備されたほ場で基幹作物の水稻を始め、麦やタバコ、きゅうりなどを組み合わせた水田農業主体の営農体系となっている。</p>
②地域づくりの現状と課題及び今後の展開方向	<p>ほ場整備事業やかんがい排水事業により基幹施設は充実したが、集落とほ場を結ぶ道路や河川からほ場に用水を送る用水路は未整備である。また、河川や用水路から取水する分水工も老朽化し、農業用水の確保や維持管理の軽減が課題となっている。</p> <p>このため、集落に隣接する農道や、未整備の用排水路を整備することにより、基盤整備の完結に向けた整備を行う。</p> <p>今後、整備された農地を活用し、安定的な農業経営を維持し、消費者が満足する地産地消の生産拠点として展開する。</p> <p>また、農事組合法人を設立し、営農機械等の共同利用、農地の集積を実施し、さらなる農業経営の合理化を図る。</p>
③別途作成されている計画・プラン等における位置づけ	<p>農村振興基本計画（平成17年3月策定）の中で、規模拡大型水田主体農業エリアに位置付けられている。</p>

3. 目標を定量化する指標（数値目標）

	指 標	単 位	定 義	指標設定の考え方（目標との関連性）	現在値	基準年度	目標値	目標年度
必須	農業用排水施設、農道の整備保全により条件整備された機能が確保された農地の増加面積	ha	事業実施前後の農業用排水施設、農道の整備保全により条件整備され機能が確保された農地の増加面積	農業用水が安定供給及び農道が整備されることにより、労力節減、品質向上、収量増加が見込まれ、安定した農業経営が可能になる。	0	H16	(106.1) 102.5	H21
	担い手（農事組合法人）への農地利用集積等の増加分	%	計画前後の地区内に占める担い手（農事組合法人）への農地利用集積等の増加分	農事組合法人を設立することにより農地集積を促進する。	(25.7) 26.6	H16	(28.7) 29.7	H21
選択	農業用排水施設、農道の整備保全により条件整備された機能が確保された農地の増加による労力の節減	hr	事業実施前後の農業用排水施設、農道の整備保全により条件整備され機能が確保された農地の増加による労力の節減	農業用水が安定供給及び農道が整備されることにより維持管理時間の減が可能になる。	9,384	H16	7,038	H21
	農事組合法人設立	組織	農事組合法人設立	組合法人を設立し、効率的で安定した経営を行う。	0	H16	1.0	H17

4. 元気な地域づくり計画の取組方針

取 組 方 針	主な対策
農業用水施設及び農道を整備することにより、大幅な営農労力、維持管理費の節減が図られ、担い手農家が安定して農業経営することが可能となる。	基盤整備促進

## 5. 本計画の地域住民への周知方法

平成20年8月に地元説明会を開催、変更内容の説明を行い関係者の意見並びに同意を求め、変更事業計画を策定。  
平成21年3月、計画概要公告縦覧予定。  
平成21年内に広報誌、市ホームページ等に掲載予定。

## 6. 地域住民からの意見の配慮状況

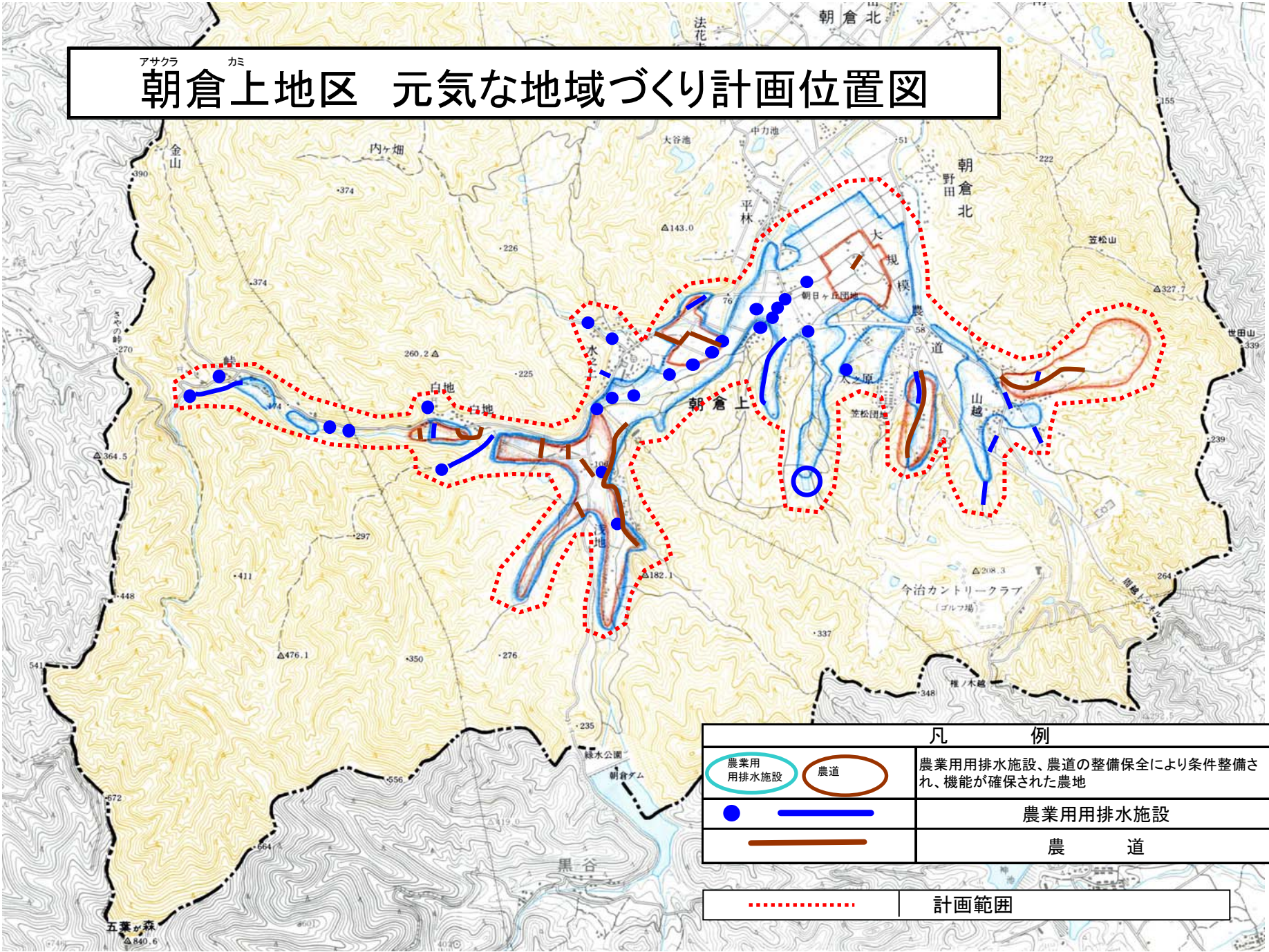
平成20年8月に地元説明会を開催したが変更計画に対して地域住民からの異論等がなく、営農用水管理が容易になった、施設維持管理費が削減された等の発言があり、同事業の効果が発揮されている。また、本指標である農事組合設立もH17に完了し、農地集積が進んでいる。

## 7. その他特記事項

## 8. 添付書類

- ① 計画位置図
- ② 計画イメージ図
- ③ 目標及び指標の設定根拠に関する資料
- ④ その他必要な資料

# 朝倉上地区 元気な地域づくり計画位置図



凡 例	
農業用排水施設	農道
農業用排水施設、農道の整備保全により条件整備され、機能が確保された農地	
	農業用排水施設
	農 道

計画範囲

# 朝倉上地区元気な地域づくり計画（イメージ）

テーマ 多彩な地域資源による食料の安全・安定供給の体制づくり

目標 新鮮で安心な食料を安定的かつ持続的に供給するためには、農業生産の向上を促進し、安全で安心な食料を安定的に供給する生産体制をつくる。

指 標

農業用排水施設、農道の整備保全により条件整備され機能が確保された農地の増加面積

農業用排水施設、農道の整備保全により条件整備され機能が確保されたことによる維持管理に要する労働時間の低減

農事組合法人の設立

担い手（農事組合法人）への農地利用集積等の増加

施策内容

農地基盤整備対策

農業用排水施設整備

農道整備

農業用水が安定供給されること及び農道が整備されることにより、労力節減、品質向上、収量増が見込まれ、安定した農業経営が可能になる。